

【科目名】 人体の構造と機能及び疾病		【担当教員】 村井 絹子
【授業区分】 専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)
【開講時期】 後期	【選択必修】 必修	murai@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】 1	【コマ数】 15	(オフィスアワー) 月曜・木曜 8:30～17:30
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <p>この科目は公認心理師養成のための必修科目となる。以下の - をはじめ、公認心理師としての医学的基礎を理解する。 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <p>医学の基礎として人体の構造と機能及び疾病について学習する。 この講義のほかに、「解剖学」や「生理学」、「内科学」などの医学関連科目を受講するとより理解を深めることができる。</p>		
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>公認心理士を目指す人の必須科目であるため、人の成長・発達や日常生活との関連性を踏まえた理解を目指す。また様々な職種と協働しながら支援等を主体的に実践するため、必要な医学的知識を習得し、より専門性の高い領域へ進む基礎となるようにする。 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-2 当該科目と学位授与方針等との関連性；R-1</p> <p>(方法)</p> <p>指定した教科書を使用し、講義を行う。</p>		
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <p>「人体の構造と機能及び疾患」に引き続き、正常な人体構造と機能の基礎知識を学習する。また、心理的支援が必要な代表疾患の成り立ちや特徴を理解する。</p>		
<p>【行動目標(SBO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的支援が必要な代表的疾患の成り立ちを説明できる。 ・心理的支援が必要な代表疾患の特徴を説明できる。 		
<p>【教科書・リザーブドブック】</p>		
<p>【参考書】</p>		
<p>【評価に関わる情報】</p> <p>(評価の基準・方法)</p> <p>成績評価基準は本学学則規定GPA制度に従う。 100点満点で60点以上を合格とする。</p>		

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		60	40						100
評価指標	取り込む力・知識	60	40						100
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-2回目	疾病の概要と特徴 呼吸器系 気管支喘息・肺炎・肺癌・COPD・肺結核	講義	人体の構造と機能及び疾患の復習	90
3-4回目	疾病の概要と特徴 循環器系 狭心症・不整脈・心筋梗塞・高血圧症	講義	1回目の復習(小テスト)	90
5-6回目	疾病の概要と特徴 消化器系 胃潰瘍・胃がん・食道がん・膵臓がん	講義	2回目の復習(小テスト)	90
7-8回目	疾病の概要と特徴 消化器系 大腸がん・肝臓がん・肝炎・肝硬変	講義	3回目の復習(小テスト)	90
9-10回目	疾病の概要と特徴 腎・代謝系 急性腎不全・慢性腎不全・糖尿病	講義	4回目の復習(小テスト)	90
11-12回目	疾患の概要と特徴 血液・神経系 白血病・パーキンソン病・脳腫瘍・脊髄損傷	講義	5回目の復習(小テスト)	90
13-14回目	疾患の概要と特徴 難病・遺伝病・感染症 ALS・筋ジストロフィー・先天性疾患・エイズ	講義	6回目の復習(小テスト)	90
15-16回目	人間の成長・発達(ライフサイクル) 国際生活機能分類 健康の捉え方	講義	7回目の復習(小テスト) 8回目の復習(小テスト)	90